

横浜市立茅ヶ崎小学校 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

| 学校教育目標 | 教育課程全体で育成を目指す資質・能力 |
|-----------------------|--|
| 自分らしさを創る たくましい ちがさきっ子 | <コミュニケーション力> <問題発見・解決能力> <社会生活との関わり> |

(2) 中期取組目標

| 中期取組目標 |
|--|
| <p>豊かなふれあいを大切にしながら、一人ひとりが安心して笑顔で過ごせる学校づくりに努めます。</p> <p>○一人ひとりが自分の考えをもち、伝え合うことを通して、学び合う楽しさを実感できる授業づくりを推進します。</p> <p>○様々ななかかわりあいの中で育つ自己肯定感や自己有用感を基本にした、豊かな人間関係力の構築を図ります。</p> <p>○地域の人々、自然、施設などに積極的に関わる「体験学習」を通して、地域協働教育の充実を図ります。</p> <p>○教職員の連携を促進し、学校教育目標の実現に向けて活力ある組織的な取り組みを行います。</p> <p>○働き方に対する教職員の意識を改革し、持続可能な勤務ができるような取り組みを行います。</p> |

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|----------------------|---|
| 確かな学力 | ①教科担任制を取り入れ、授業改善を図る。 ②特別支援教室など児童の実態に即した指導形態を継続可能な形で取り入れる。 |
| 担当 学力・教師 力向上部会 | ③1時間・単元のねらいを明確にし、主体的・協働的な学びを取り入れた展開を行い、「粘り強く課題解決する」姿を目指して授業の質を高める。また、「分かりやすい楽しい授業」の具現化に努める。 |

2 全国と横浜市の学力・学習状況調査、学校アンケート等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析（令和5年度 全国と横浜市の学力・学習状況調査より）

昨年度の6年生対象の令和5年度全国学力・学習状況調査結果から、国語は全国正答率 67.2%に対して本校正答率 75%、算数では、全国正答率 62.5%に対して本校正答率 73%。どちらも平均を上まっており、基礎的な力は身に付いているといえる。

また、昨年度の2年生から6年生対象の令和5年度横浜市学力・学習状況調査結果では、全体的な学力において横浜市の平均を大きく上回っている。学習意識においては、2つの学年で横浜市の平均を下回っているものの、どの学年も令和4年度と比較すると向上している。教科による意識の大きな偏りは見られない。

(2) 経年変化の状況（令和4年度→令和5年度 学校アンケートより）

項目「自分から進んで学習に取り組んでいる。」、そう思う、ややそう思うの割合は80%→81%（1%向上）、項目「我が子は、自ら進んで学習に取り組んでいる。」、そう思う、ややそう思うの割合は、70%→74%（4%向上）と、子供と保護者の認識にずれが生じている。また、項目「学習中、自分の考えや思いを進んで先生や友達に伝え合っている」は、そう思う、ややそう思うの児童の割合が68%→68%のままである。学習指導要領にある『主体的に学習に取り組む態度』を育むことのできる指導の工夫について研究を重ねていく必要がある。

さらに、項目「授業は分かりやすい」、そう思う、ややそう思う児童の割合は、88%→88%と、変わらず高い水準を維持している。こうした積み重ねに加えて、昨年度に引き続き、主体的に自分の考えや思いを伝える『自分らしさを創る』ちがさきっ子の育成に努めていきたい。